

西日本シティ銀行

ミニディスクロージャー誌 平成26年3月期

平成25年4月1日～平成26年3月31日

NCB

NISHI-NIPPON CITY BANK

ココロがある。コタエがある。



会長 久保田 勇夫

頭取 谷川 浩道

2014.10 ANNIVERSARY
10th

おかげさまで創立10周年

新たな、ステージへ。

ココロがある。 コタエがある。

西日本シティ銀行は、

この秋、創立10周年を迎えます。

これもひとえに、

お客さま、地域の皆さまの

あたたかいご支援のおかげと

行員一同心より感謝いたしております。

この10年間、私たちの生活を取り巻く環境は
さまざまに変化してまいりました。

しかし、西日本シティ銀行の姿勢は、

何も変わっていません。

ひとりの人間として、

熱く誠実なココロで

お客さまと向き合うこと。

そして、お客さまのために汗をかき、

期待を超えた最良のコタエを

いっしょに導き出すこと。

それが、これからもこの先もずっと変わらない
西日本シティ銀行の姿勢です。



経営理念

【理念】

西日本シティ銀行は、高い志と誇りを持って時代の変化に適応し、お客さまとともに成長する”九州No.1”バンクを目指します。

お客さまに一番近い

お客さまに一番近い銀行として、誠実に対応し、圧倒的に支持される銀行を目指します。

地域に貢献する

健全経営を基本に、地域に貢献し、積極的に社会的責任を果たすことで、広く信頼される銀行を目指します。

期待に応える人づくり

あたたかな心とチャレンジ精神を持ち、自由闊達で積極果敢に行動する人づくりに努めます。

【行動憲章】

心がある

私たちは、いつもお客さまの身になって、丁寧に対応し、真摯にご相談に取り組みます。

情熱がある

私たちは、いつもお客さまの声に、熱く行動し、チャレンジし、スピーディにお応えします。

夢がある

私たちは、いつもお客さまの期待をこえた、新しく、価値のある提案をお届けします。

シンボルマーク

シンボルマークには、西日本シティ銀行がお客さま・株主・社会とともに成長し、喜びをわかちあい、地域に根ざした花を咲かせていくという願いを込めました。上部の花びらはそれぞれがステークホルダー（個人や法人のお客さま、株主、地域社会、行員など）を表し、下部の人間像はそれらを力強く支えていく西日本シティ銀行の姿勢と喜びを表現しています。また、全体をユニークで独自性の高いフリーハンドで図案化し、躍動感や人間的優しさを表現しています。コーポレートカラーは、あたたかい人間性や輝く太陽を表すオレンジと、洗練性や先進性を感じさせるブルーの2色を使用しています。



CONTENTS

3 ごあいさつ

5 【特集】企業インタビュー

「NCB九州6次化応援ファンド」
出資決定企業に聞く。

技術力を武器に九州から世界へ！
海外進出企業に聞く。

9 人生まるごとサポート宣言！

暮らしにあわせて選べる、
2つのオールインワンカード

13 NCB NEWS

15 CSR 地域との共栄

19 業績ハイライト

21 安心に向けた取組み

22 企業プロフィール・ネットワーク

お客さまのために、地域の皆さまのために。

皆さまには、平素より西日本シティ銀行をお引き立ていただき、感謝申し上げます。当行はおかげをもちまして、本年10月に創立10周年を迎えます。これもひとえに皆さまの温かいご支援、ご愛顧の賜物と心より厚く御礼申し上げます。

このたび、平成26年6月27日をもちまして、取締役会長に久保田勇夫が、取締役頭取に谷川浩道がそれぞれ就任いたしました。

この新体制のもと、お客さまのために、地域の皆さまのために汗をかき、地元とともに発展する地域金融機関として、当行が目指す銀行像「国内トップレベルのサービス」を地元で提供し、お客さまとともに栄える九州No.1バンクの実現に引き続き邁進してまいります。

日本の経済と九州経済の概況

平成25年度の日本の経済を顧みますと、輸出環境の改善や政府による経済対策、日本銀行による金融緩和策等を背景に、緩やかな持ち直し基調のもとでスタートしました。その後は、企業収益の改善や、消費税率引上げ前の駆け込み需要による個人消費の増加などにより、緩やかな回復基調が続きました。

当行の地元である九州の経済は、消費者マインドの改善や公共投資の大幅な増加のほか、主力産業である自動車産業が概ね好調に推移しているなど、緩やかに回復しました。

ライフサイクルに応じた最適なサービスのご提供

法人・個人事業者のお客さまとお取引は、海外進出や販路拡大など、法人のお客さまのライフサイクルに応じたさまざまなニーズを起点に、

「企業まるごとサポート」をコンセプトとした最適なサービスを提供してまいりました。海外進出支援に關しましては、海外への事業展開をトータル・サポートする専門窓口「ワールド・ビジネス・スクウェア」を営業店14か店に設置したほか、当行海外拠点やグループ会社の株式会社NCBリサーチ&コンサルティングを活用した、きめ細かいサポートを展開しました。

また、地場産業の育成支援として、「NCB九州6次化応援ファンド」を通じて全国初となる6次産業化ファンドへの出資を行ったほか、経営改善・事業再生に取り組む中小企業のお客さまの支援を目的としたファンドや、PFI事業への資金供給を目的とした官民連携インフラファンドなど、さまざまなファンドを通じた事業支援を行ってまいりました。また、太陽光発電事業に係る大型シンジケートローンにおいて九州地銀初

取締役会長
久保田 勇夫



となるアレンジャーも務めました。

こうした取組みのほか、香港貿易発展局との相互協力に関する合意書や九州大学との産学連携協定を締結するなど、外部機関とも連携したビジネス支援態勢の強化を図りました。

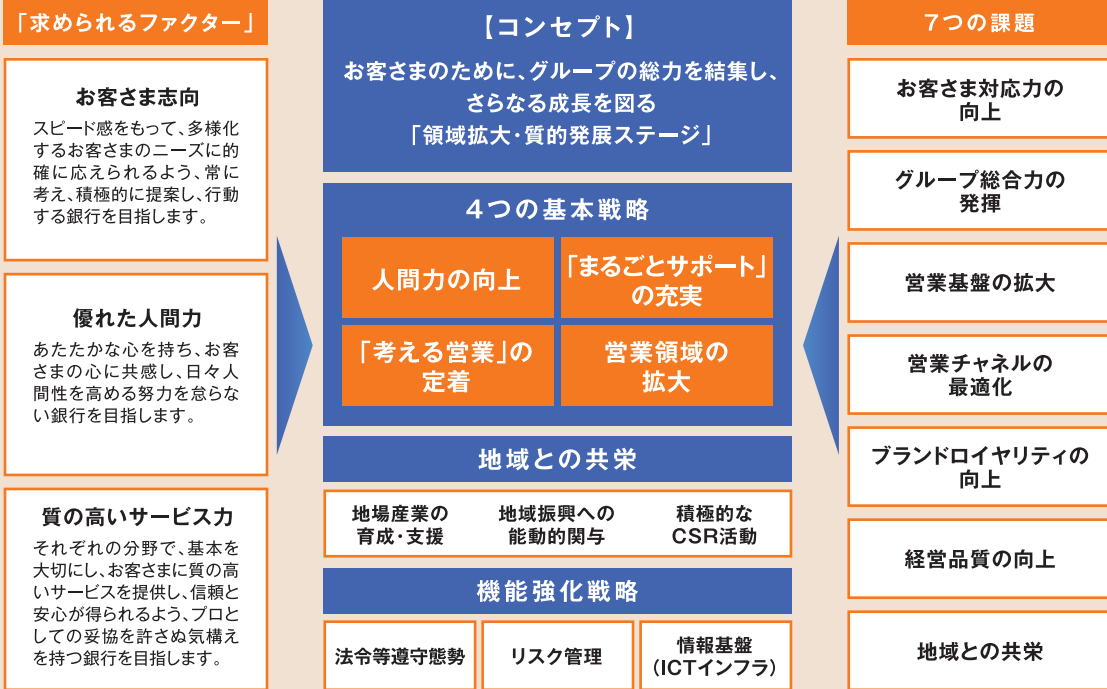
専門チャネルの拡大と利便性の向上

個人のお客さまのお取引は、資産運用や住宅の購入など、お客さまのライフステージから生じるさまざまなニーズを起点に、「人生まるごと

中期経営計画の概要【計画期間：2014年4月～2017年3月】

「New Stage 2014～汗をかこう～」

「New Stage」で目指す銀行像
国内トップレベルのサービスを地元で提供し、お客さまとともに栄える“九州No.1バンク”



サポート」をコンセプトとした最適なサービスを提供してまいりました。お客さまの多様なニーズにお応えする専門営業チャネルに関しましては、

「New Stage」で目指す銀行像
国内トップレベルのサービスを地元で提供し、お客さまとともに栄える“九州No.1バンク”

「New Stage」で目指す銀行像
国内トップレベルのサービスを地元で提供し、お客さまとともに栄える“九州No.1バンク”

所新設し、専門営業チャネルは計45拠点にまで拡大いたしました。

ATMに関しましては、お客さまのさらなる利便性向上を図るため、全国で13,000台以上のATMを擁する株式会社イーネットとの提携を開始し、コンビニATMと当行ATMの設置台数は、年度末時点において全国で44,000台以上となりました。

新中期経営計画「New Stage 2014」
「汗をかこう」スタート

当行は平成26年4月から平成29年3月までの3年間を計画期間とする中期経営計画「New Stage 2014」をスタートさせております。

本計画では、外部環境の変化やお客さまの当行に対する評価などから「お客さま志向」、「優れた人間力」、「質の高いサービス力」という3つの「求められるファクター」を抽出した上で、「お客さまのために、グループの総力を結集し、さらなる成長を図る」領域拡大・質的发展ステージ」を基本コンセプトとして掲げております。



取締役頭取
谷川 浩道

また、本計画には、「汗をかこう」という副題をつけております。そこには、合理性やスマートさも必要ですが、当行としては、何よりも人と人の密接な関係を大事にし、お客さまのため、地域の皆さまのために「汗をかこう」姿勢を貫くことが大切だという思いを込めております。

今後とも、役員一同、地域金融機関の本分に立ち返り、たゆまぬ努力を傾注し、お客さまの期待に応え地域経済の活性化に貢献してまいり所存です。より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



◀ 特集 ▶
企業インタビュー①
「NCB九州6次化
応援ファンド」
出資決定企業に聞く。

自社ブランドの「肥後浪漫」に囲まれる西日本フレッシュフーズ株式会社 代表取締役 志賀 泰友氏

「カット野菜」参入で、 向かい風を追い風に！

熊本を中心に流通業を営み、
現在200軒ほどの生産者と取引がある株式会社双葉。
「NCB九州6次化応援ファンド」の出資により、
カット野菜という新事業に挑むことになった経緯とは。
志賀社長に話を聞いた。

業界全体を取り巻く、 厳しい現状…

熊本で、野菜や果物の卸売業を始め
て48年。長年おなじ業界に身を置くな
かで、農業を取り巻く環境が大きく変
化しているのを、志賀社長はシビアに
受け止めていた。「ライフスタイルの
変化による外食や中食の増加に伴っ
て、30年ほど前から、野菜や果物の総
生産量のうち加工に占める割合が、少
しずつ大きくなってきています。平成
2年を越えたあたりから、ついに50%
を超えるようになりました。」
業界全体を取り巻く大きな変化に
伴って、自分たちの会社もやり方を変

えていかねばならない、その必要性を
強く感じていた。「販売先のお客さま
からも加工をやってほしいという声
はあがっていて、十数年前から構想は
あったんです。しかし、全国の加工場
などを見て回り、その難しさを目の当
たりにするなかで、当時は実行に移せ
ませんでした。」

ニーズがあり、ノウハウの提供も
協力してくれる生産者も確保できる
状態ではあったが、加工するための
機械設備に莫大な資金がかかること、
数々の失敗例を見てきたことなど、
さまざまな要因が大きなハードルに
なっていた。そんなとき、志賀社長の

背中を押したのが「NCB九州6次化応援ファンド」だった。

「ファンドだからこそ
挑戦する価値が生まれた。」

「西日本シティ銀行とは、会社がまだ軌道に乗る前から4年以上のお付き合いです。2年ほど前に、銀行から6次化応援ファンドの話を持ちかけられました。」

その当時、農業生産会社としてマイルドを立ち上げ、ジャムなど加工品の製造・販売を少しずつ行い始めたころであった。「専門性のある会社（1次産業）が新事業（6次産業）をやるうとしてもなかなか成功しないのは、なんでも自分たちでやるうと

NCB九州6次化応援ファンドとは

「NCB九州6次化応援ファンド」は、九州における1次産業事業者（農林漁業者）と2次・3次産業事業者（商工業者）との連携による新たな事業機会の創出、付加価値の創造（1次×2次×3次＝6次産業化）を目的として、西日本シティ銀行と株式会社 農林漁業成長産業化支援機構の共同出資により平成25年4月に設立されました。ファンド総額は20億円で、NCBグループの株式会社NCBリサーチ&コンサルティングがファンドの運営・管理を行います。

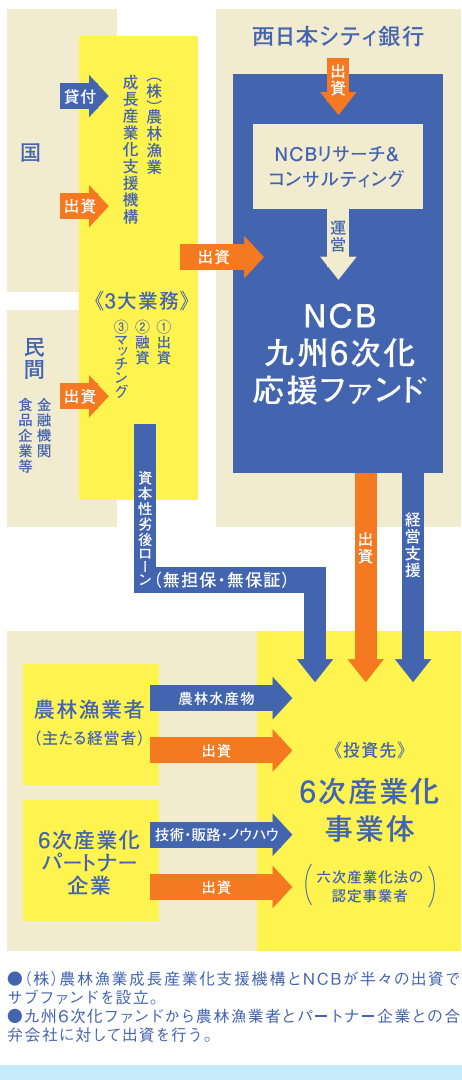
投資対象は、九州圏内（九州各県・山口県等）に主な拠点がある農林漁業者と商工業者との合弁企業体で、生産から消費までのバリューチェーンを創出する農林漁業の成長産業化にチャレンジする企業です。



新世代シトラス21の皆さん



現在、取引のある農家は200軒以上



するからだと言われました。金融面は、私たちに任せてくださいと言ってもらい、ようやく踏み出す決心ができました。」

こうして、双葉とマイルドの共同出資で西日本フレッシュフーズを設立し、本格的にカット野菜を中心とする加工業に乗り出した。「お金を借りるだけなら他の金融機関からでも借りられますが、信頼のおける西日本シティ銀行に出資というカタチで面倒をみてもらえること、金融面だけではなく、事業として成り立たせるために第三者目線から多くのアドバイスをいただけることは、大きな後押しになりました。」

「つながり」を武器に、農業に新しい風を！

拡大するカット野菜市場において、西日本フレッシュフーズがこれまで培ってきたものは大きな意味を持つ。「今まで他社の規格に沿って納品する側だったのが、自分たちで加工を始めることで、規格外で廃棄していた野菜を有効活用したり、生産状況に合わせて価格を調節したりもできる。そしてそれは、九州の生産者の方々と長年密接に関わってやってきた私たちならではの大きな強みだと思います。これからも、生産者と販売者、両方のお役に立つため、そして九州全体が潤うために、新たな挑戦をし続けていきたいと思っています。」



油圧メンテナンスの専門集団を率いる株式会社 リョーワ 代表取締役 田中 裕弓氏

◀ 特集 ▶

企業インタビュー②

技術力を武器に
九州から世界へ!
海外進出企業に聞く。

海外進出で、日本の ものづくりを守る!

駆動に大きな圧力を必要とする工場のプレス機や
身近なところではエレベーター、
遊園地の観覧車など、
さまざまところで活躍する油圧機器。
今、日本全国から発注を受けている
北九州市の油圧会社が海外に挑もうとしている。
その真意とは? 田中社長に話を聞いた。

急速に縮小する 日本の油圧市場。

リョーワは、油圧機器の設計・製作、配
管工事、試運転立会、メンテナンス、改造
工事までを手がける「油圧の専門集団」
として北九州市で40年以上続いてきた
会社だ。「これまでずっと油圧に特化し
た事業をやってきましたが、今、油圧メ
ンテナンスの市場は急速に縮小してい
ます。理由は、ひとつは油圧駆動から電
気駆動への移行。自動車とかといっ
しょですね、ハイブリッドや電気に
取って代わられるようになりました。
もうひとつは、製造関係の企業が海外

にどんどん出て行っていることです。」
リーマンショック、東日本大震災:
どんどん売上は落ちていき、ピーク時
の55%ほどまで下がった。

このままでは将来的に油圧メンテナ
ンスをする会社がなくなってしまう、
危機感を覚えた田中社長は一念発起
した。「顧客が海外に出て行くなら、
自分たちも出て行けばいいじゃないか。
そして、世の中の流れが脱・油圧なら、
自分たちもそれに合わせて変わるしか
ない。そう決意しました。」変わることを
恐れていては、前に進めない。こうし
て、リョーワの経営革新は始まった。

中国・大連で見つけた、
大きなビジネスチャンス。

はじめは、もともと日本で取引のあった企業の海外工場に出向き、出張メンテナンスをするところから始めた。しかし、それも次第に停滞していく。自分たちから外に出て、取引先を開拓していく必要性を感じた。「そもそも、日本の人口がどんどん減少していくなか、中国は億単位で増えている。隣にそんな大きな市場があるのに、行かない手はないですよね。」

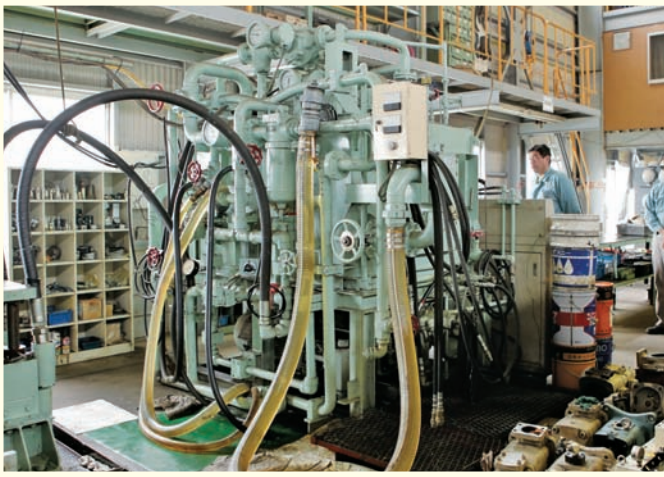
市場の大きさに加え、中国にはリョーワが参入していくのに都合の

いい条件が揃っていた。「アジアには『メンテナンス』という概念自体がまだ根付いていないんです。さらに、中国は今、大学の進学率が上がっていて、エリート志向が高まっている。つまり、製造業に携わる人はこれから減っていく。そうになると、人件費をかけずに生産性を向上させる必要がある。そこに私たちのビジネスチャンスを感じました。」

「当時営業に来ていた西日本シティ

銀行の方に、大連進出を考えていることを話したら、わざわざ駐在員の方が大連でヒアリングをし、レポートとして提出してくれた。頼りになるな、やはり海外ビジネスは西日本シティ銀行だなと思いい、そこから取引を始めました。大連進出を決めてからは、中国の大手銀行での口座開設を手伝ってもらったり、信頼できる現地コンサルタントやコミュニティを紹介してもらった。なにより、中国は人脈がとても大事な市場ですので、銀行という信頼のあるところから紹介してもらえたのは、とても助かりました。」

「ものづくりの国・日本を海外から支えたい！」
韓国の企業との外観検査装置の共同開発契約の締結、タイのメーカーとの代理店契約の締結などグローバルに展開するリョーワだが、今後はあくまでも海外にある日系企業を中心に取引を増やしていくつもりだ。「私たちは、日本を捨てたわけではありません。あくまでも『日本のものづくりを守る』ための海外進出なのです。これからも、機械のメンテナンスを通じて、世界に誇る日本のものづくりを支えていきたいと思っています。」

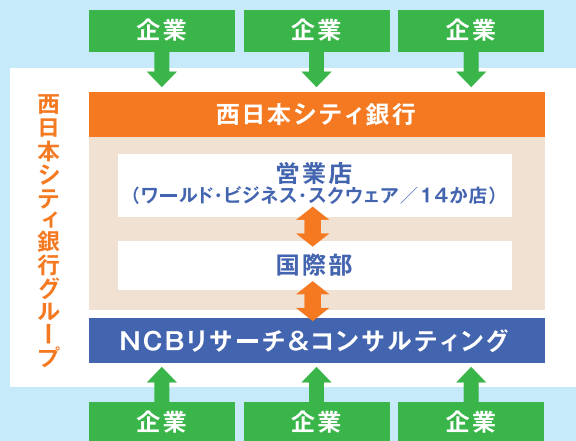


場所は、海外にアクセスしやすい北九州空港そば

西日本シティ銀行グループの
国際ビジネス支援態勢

◎グループ総合力でお客さまをサポート

西日本シティ銀行と、グループ会社のシンクタンクであるNCBリサーチ&コンサルティングが連携し、グループの総合力を発揮してお客さまをサポートしています。また、平成25年4月からは、営業店14か店に設置した専用窓口「ワールド・ビジネス・スクエア」にて、お客さまの外国為替取引や海外ビジネスに関するご相談の受付とサポートを行っております。海外のネットワークは、香港、上海、ソウルの駐在員事務所に加え、中国銀行、新韓銀行など6行の海外金融機関や、貿易関連機関と提携関係にあります。



西日本シティ銀行グループは、ウェブサイト (<http://www.johoza.co.jp/asia/>) や、テレビ番組(「アジアへの扉」)を通じて、アジアビジネス情報をご提供しています。



人生まるごとサポート宣言！

西日本シティ銀行は、お客さまの人生のさまざまな場面でお役に立てるような幅広いニーズに対応した窓口・サービス・商品で、あなたの人生をまるごとサポートします。

住宅資金や教育資金など、
ライフプランに応じてローンの専門家が
ご相談にお応えします。

ローン営業室、NCBローンプラザ

ローン専門窓口である「ローン営業室」「NCBローンプラザ」では、専門のスタッフが住宅ローンをはじめさまざまなローンのご相談をお受けしております。お手続きも専門のスタッフが正確・迅速に対応いたします。土曜日・日曜日も営業しておりますので、休日に時間を気にせず、ゆっくりゆったりご相談いただけます。

ローンのことなら、住宅ローンから車やお子さまの教育資金など何でも「ローン営業室」と「NCBローンプラザ」におまかせください。現在、福岡県を中心に21の窓口で営業しています。

※ご相談窓口の場所、営業時間等は当行ホームページ「休日の相談窓口(ローン営業室)」「NCBローンプラザ」でご確認ください。



保険の専門スタッフが
あなたに合った保険を見つけます。

NCBほけんプラザ

保険の専門窓口である「NCBほけんプラザ」では、保険の専門スタッフが、保険に対するお悩みや疑問を解決します。お客さまのライフプランに応じて、必要な保障を無料でアドバイスし、お客さまに適した商品を組み合わせたオリジナルのプランをご提案します。

平日はもちろん、土曜日・日曜日も営業しておりますので、お気軽にご相談ください。現在、10店舗で営業しています。キッズルームもありますのでお子さま連れの方も安心してご来店いただけます。(一部店舗を除く)

※ご相談窓口の場所、営業時間等は当行ホームページ「休日の相談窓口(NCBほけんプラザ)」でご確認ください。





土曜日・日曜日も、
どなたでもお気軽にご相談いただけます。

NCBいつでもプラザ

「NCBいつでもプラザ」はショッピングセンターの中にあり、土・日・祝日や平日15時以降もご利用いただけます。ローンはもちろん、預金や資産運用、もしもに備える保険のことなど幅広くご相談いただける便利な窓口です。

平日時間がない方、当行に口座をお持ちでない方も、ちょっと相談してみようかなと思ったら、お近くのショッピングセンターにある「NCBいつでもプラザ」にお気軽にお立ち寄りください。現在、福岡県内のショッピングセンター12店舗で営業しています。

※ご相談窓口の場所・営業時間等は当行ホームページ「休日の相談窓口(いつでもプラザ)」でご確認ください。



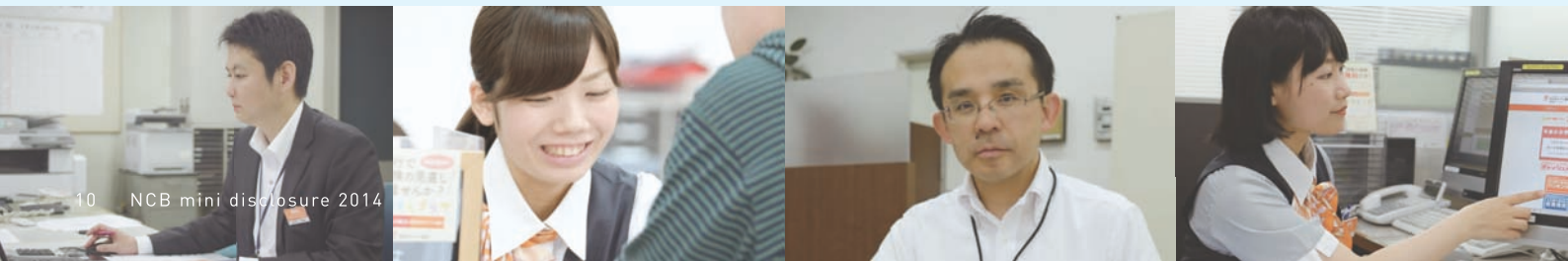
銀行の商品を超えた、専門性の高い
資産運用ニーズにお応えします。

西日本シティT T証券

西日本シティ銀行グループの証券会社である西日本シティT T証券では、お客さまの資産運用ニーズにきめ細かくお応えするため金融商品・サービスの拡充に取り組んでいます。専門性の高い資産運用相談やコンサルティングサービスの提供を通じて、お客さまのあらゆる資産運用ニーズにお応えします。

従来、銀行ではお取扱いできなかった商品も多数揃えています。現在、西日本シティ銀行の営業店舗内の共同店舗を中心として9店舗で営業しています。

※詳しくは西日本シティT T証券のホームページでご確認ください。



うれしい機能や特典がいっぱいのオールインワン!

- ◎キャッシュカード・クレジットカード・ローンカードの3つの機能が全部入り!
- ◎カード作成から1年間、ATM時間外手数料が無料!^{※1} 2年目以降も、お取引に応じて無料に!
- ◎カード作成から1年間、年会費無料!^{※2} 2年目以降も、ご利用条件によって無料に!

全国各地で、乗れる、買える!

事前にカードにチャージ(入金)しておくと、全国の鉄道・バスのご乗車、電子マネー加盟店でのお買い物ができます。カードを読み取り部にタッチするだけなので、かんたん便利!

下記サービスマークの付いているエリアでご利用になれます。*PiTaPaエリアは電子マネー相互利用サービス対象外です。



SUGOCA



JR九州「SUGOCA」の機能が加わった オールインワン JQ SUGOCA



旅行に、レジャーに、
いろんな場所で特典満載!

JR九州旅行企画商品がいつでも3%OFF! さらに、ホテルやレジャーなどJRグループ各施設でも様々な特典が受けられます。

※一部対象外商品あり。※カード名義ご本人様のみ。



アミュープラザ、アミュエスト、
博多阪急でのお買い物がおトクに!

クレジットでのお支払いで、アミュプラザ博多・アミュエストでのお買い物
がいつでも5%OFFになるほか、
様々な施設で割引を受けられます。

※一部対象外店舗あり。



SUGOCAポイント、
JQポイントが貯まる。

IC乗車券・電子マネーのご利用で

暮らしにあわせて選べる、
2つのオールインワンカード!
これ一枚で毎日をもっと便利でおトクになる、2つのカードをご紹介します。

©JR九州/RG/IP

を場合に限り。※2 ゴールドカードは除く。

©GROOVISIONS

ALL IN ONE +JQ SUGOCA、+nimoca

nimoca



西日本鉄道「nimoca」の機能が加わった
オールインワン
nimoca

nimoca

**nimoca
ポイントが貯まる。**

IC乗車券・電子マネーのご利用、また現金やクレジットによるお支払いでもnimocaポイントが貯まります。
※相互利用先でのご利用はポイントの対象外です。

SOLARIA
PLAZA

ソラリアプラザでのお買い物がおトクに！

クレジットでのお支払いで、ソラリアプラザでのお買い物が、いつでも5%OFFになります。
※カード利用代金引き落としの際、5%引きの金額で引き落とされます。※クレジット決済不可の店舗など、一部対象外の店舗があります。



**定期券が搭載できる！
通勤・通学もこれ一枚。**

西鉄バスすべての定期券、西鉄電車の天神大牟田線・貝塚線の各駅の定期券を搭載することができます。
※定期券のご利用のみの場合、ポイントはつきません。



SUGOCAポイントが、クレジットでのお支払いでJQポイントが貯まります。
※相互利用先でのご利用はSUGOCAポイントの対象外です。

※1 当行設置のATM(セブン銀行ATM、ローソンATM、イーネットATM、福岡県内の一部のファミリーマートATMを含む)で当行のキャッシュカードをご利用ください。

最先端研究シーズとの融合を目指し、九州大学と産学連携協定を締結しました。

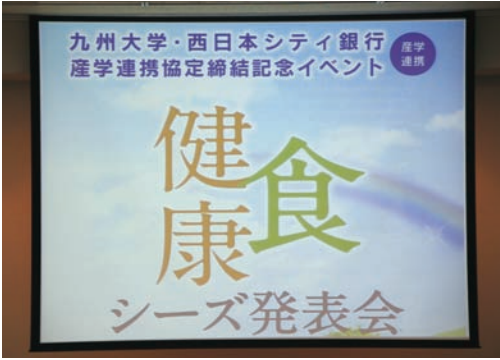


3月28日、当行は九州大学が持つ研究成果や技術シーズ等の知的財産と、当行が持つ幅広いネットワーク及び金融、経済に関するノウハウの融合により、学術の振興と地域の発展に寄与することを目的に、九州大学と産学連携協定を締結しました。

また、産学連携協定の締結記念イベントの一環として、6月4日に、九州大学、NCBリサーチ&コンサルティングとの共催により、食・健康をテーマとした「シーズ発表会」を開催いたしました。

今後、大学技術シーズと企業ニーズのマッチングを通じた地域企業の事業力強化や、大学の学術研究活性化、研究成果の事業化及び大学発ベンチャーへの支援、人材交流等で、連携を図っていきます。

※技術シーズとは
知的財産や特殊技術、特許、ノウハウ、研究成果等の総称(シーズII種)



創立10周年記念事業を展開します。

西日本シティ銀行は、旧西日本銀行と旧福岡シティ銀行の合併により誕生し、本年10月1日に創立10周年を迎えます。10周年の節目を迎えた「感謝の気持ち」とともに、次の10年に向けた人財の育成や一層高度なサービスの提供を通して、お客さま、地域の皆さまとともに飛躍していききたいという想いを込めて、記念事業を展開します。



おかげさまで創立10周年

【シンボルマーク】

シンプルな「10」の数字に、動きのあるリボンで「10周年の感謝」と「未来への飛躍」を表現し、「明るさ」「あたたかさ」「元気」が感じられるデザインとなっています。

主な記念事業の概要

創立10周年

記念キャンペーンの展開

創立10周年を迎えるにあたり、お客さまに感謝の気持ちをお届けしたいという思いを込めて、さまざまなキャンペーンを予定しています。各キャンペーンの詳細が決まりましたら当行ホームページにて、お知らせいたします。

創立10周年記念配当の実施

株主の皆さまの日頃のご支援に対して感謝の意を表するため、平成26年3月期の期末配当について、1株当り2円50銭の普通配当に、創立10周年記念配当として1円を加え、1株当り3円50銭としました。

記念音楽祭の開催

地域の皆さまと行員からなる合唱団と、九州交響楽団の演奏による記念音楽祭を12月10日に開催します。



このほかにも、多くの記念事業を計画しています。記念事業は決定次第、当行ホームページ等でお知らせします。

再生可能エネルギー事業への支援を 実施しました。

当行は太陽光発電事業に係る大型シンジケートローンにおいて、九州地銀初となるアレンジャーを務めました。Kクリーンエナジー株式会社（本社：鹿児島県枕崎市）が九州全域で実施する太陽光発電事業向けに、総額74.2億円のシンジケートローンを組成いたしました。当行では、引き続き太陽光発電事業だけでなく、再生可能エネルギーを中心とした環境分野へ参入される企業の資金ニーズに対して積極的に応え、地域経済の発展に貢献していきます。



振り込み詐欺（ニセ電話詐欺）の被害の未然防止に努めています。

① ATMコーナーでの携帯電話の通話自粛の呼びかけ

全てのATMコーナーにおいて、お客さまに携帯電話の通話を自粛していただくことにより、「ニセ電話詐欺」被害の未然防止に努めています。ATM機器から概ね2m以内の範囲で携帯電話をご利用中のお客さまには、金融犯罪被害を防止する観点から、行員がお声かけをさせていただきます。ご理解のほど、なにとぞ宜しくお願いします。

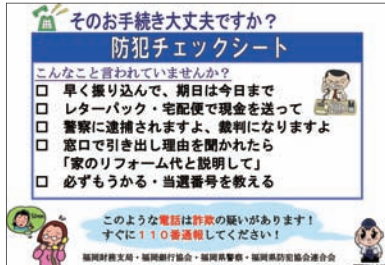
② 窓口での「防犯チェックシート」の活用

窓口で現金のお引出し・お振込みをされる高齢者等のお客さまに「防犯チェックシート」をお配りし、金融犯罪被害にあつていないかをセルフチェックしていただいています。なお、セルフチェックの結果、「ニセ電話詐欺」の疑いがあるお客さまについては、行員がお声かけをさせていただきます。

③ インフォメーション

ボードによる注意喚起

営業店ロビーの「インフォメーションボード」にて、福岡県警が作成した「ニセ電話詐欺」の注意を促す動画を配信し、被害の未然防止に努めています。



志、情熱企業

番組提供

地域の「元氣」をご紹介するTV番組をお届けしています。



毎週土曜日午後6時50分よりRKB毎日放送にて放映中です。

未来に飛躍する地元企業の志と情熱を応援する企業紹介番組です。これまでの紹介企業は300社を超えています。

アジアへの扉



毎週日曜日午後5時25分よりテレビ西日本にて放映中です。

地元九州からアジアビジネスにチャレンジした企業の経緯や特色などを紹介し、グローバル展開のヒントを提供します。これまでの紹介企業は100社を超えています。

CSR

地域との共栄

地域社会のために、できること。

西日本シティ銀行は、地域に根ざした企業市民として、私たちが、地域のため、社会のためにできることを考え、取り組んでいます。

第8回「エコノミクス甲子園」福岡大会を開催

高校生への金融教育に取り組んでいます。

これから社会にはばたいていく高校生が楽しみながら金融経済のしくみを学び「金融知識」を高めることを目的として、「エコノミクス甲子園」福岡大会を開催しています。

平成25年度は、12月8日に第8回大会を開催しました。本大会に出場した14組28名の高校生皆さんは、筆記問題や早押しクイズに挑戦し、熱戦を繰り広げました。



新春講演会を開催

最新の経済情報をお届けしています。

最新の経済情報を、企業経営や景気見通しのご参考にしていただくため、平成20年より新春講演会を開催しています。

平成25年度は、1月30日に開催しました。講演では、国際的な視点から米国、中国、ユーロ経済、また日本の経済政策について詳しく説明し、それらをベースにした地元九州経済の見通し、さらには、アジアと九州の歴史的、文化的な関係性についても解説しました。

Education

第41回 経営者賞表彰祝賀会



経営者賞「公益財団法人 経営者顕彰財団」
地域の優れた経営者を表彰しています。

九州・山口地域で中小企業の経営・技術に優れた業績をおさめ、地域経済の発展に貢献された経営者を毎年選定し表彰しています。昭和48年の開始以来受賞者は153名にのぼり、受賞者の中にはその後上場企業に成長された企業の経営者も多く、地元企業の方々
の大きな励みとなっています。
平成25年度は、株式会社ウエストの境豊作名誉会長、三友機器株式会社の河内旭代表取締役会長兼CEO、株式会社フジコーの山本厚生代表取締役社長が選ばれました。
三氏とも、本業のみならず、地域社会、地元経済へ幅広く貢献されている点が特に高く評価されました。

過去の受賞者等、経営者賞の詳細は当行ホームページの『地域社会貢献活動(公益財団法人 経営者顕彰財団)』でご確認いただけます。

Award

アジア貢献賞・アジアKids大賞「公益財団法人 西日本国際財団」
草の根の国際交流を
支援しています。

国際相互理解の促進のため、九州・沖縄・山口地域でアジアの発展及びアジアとの国際交流に地道に貢献している団体及び個人を毎年表彰しています。あわせて、未来を担う子どもたちの国際相互理解を育むため、アジア諸国との国際交流を通じて、国際友好親善に貢献している小・中学校、子ども団体等の表彰も行っています。

平成25年度は「砂漠緑化団体オルドスの風」、「ベトナム育英会」の2団体がアジア貢献賞を受賞しました。アジアKids大賞は、「芦北町立大野小学校」、「福岡市立城香中学校」の2団体が受賞しました。また、アジア貢献賞の創設15周年を記念して、「NPO法人アジア太平洋子ども会議・イン福岡」、「NPO法人社会教育団体ベルポ会」の2団体が特別賞を受賞しました。

過去の受賞者等、アジア貢献賞・アジアKids大賞の詳細は当行ホームページの『地域社会貢献活動(公益財団法人 西日本国際財団)』でご確認いただけます。

西日本国際財団アジア貢献賞・第9回 西日本国際財団アジアKids大賞 授賞式



第15回 西日本国際財団アジア貢献賞・第9回 西日本国際財団アジアKids大賞





プロムナードコンサート「公益財団法人 福岡文化財団」

28年続くお昼休みのコンサートを開催しています。

本店のエントランスホールで毎月

1回、クラシック演奏会「プロムナードコンサート」を無料で開催しています。昭和61年よりスタートし、平成

26年6月で342回を迎えました。演奏は「福岡ハイドン弦楽四重奏団」。

第1回目の開催と同時に結成された福岡唯一の常設弦楽四重奏団で、日本で初めてハイドンの弦楽四重奏曲全

曲演奏を達成しました。毎年8月は映画音楽などクラシック以外の曲も演奏し、12月はユニセフチャリティ・

クリスマスコンサートを開催しています。また、美術館等でも出張演奏会

をするなど、地域に根ざした活動を続けています。

公演スケジュール等詳細は、当行ホームページの「地域社会貢献活動（公益財団法人 福岡文化財団）」でご確認ください。

Art

温故知新
発見! 九州スピリット

温故知新「発見!九州スピリット」放送開始

知らなかった九州を
ご紹介しています。

当行創立10周年を記念して、地元テレビ局と共同で制作した新しいTV番組がスタートしました。番組では、進取の気性にとんだ九州人スピリットをテーマに、意外に知られていない人物、出来事、祭り、遺跡などの幅広い分野で「知らなかった九州」を紹介しています。

毎週土曜日午後11時6分よりKBC九州朝日放送にて放映中です。

History

博多どんたく港まつりに参加しました。

5月3日・4日に開催された「博多どんたく港まつり」に、創立10周年の特別演舞台を設置するとともに、どんたく隊を結成し、パレードに参加しました。

博多駅前の本店前に設置した演舞台ではNCBステージを5月3日に開催し、当行を支えていただいた皆さまへの感謝を表すさまざまな演技やパフォーマンスを披露しました。

また、5月3日に明治通りで行われたパレードには、黒田官兵衛役の頭取や、黒田二十四騎に扮した役員や行員の総勢200名が参加しました。



Culture

ふるさと再発見！ 地元の身近な歴史・文化を ご紹介しています。

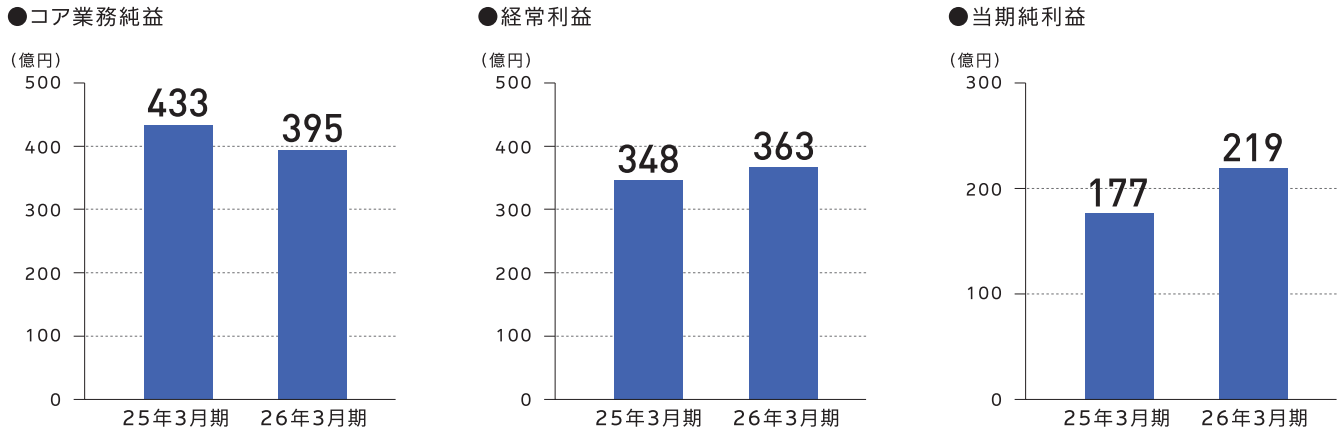
昭和54年より発行している「博多に強くなろう」「北九州に強くなろう」は通算97号になりました。平成21年創刊の「九州流」とあわせて、地元の身近な話題やゆかりの人物などをご紹介しています。

「博多に強くなろう」「北九州に強くなろう」は当行ホームページに全号掲載しています。ホームページの『地域社会貢献活動』ふるさと歴史シリーズ「博多に強くなろう」「北九州に強くなろう」よりご覧ください。



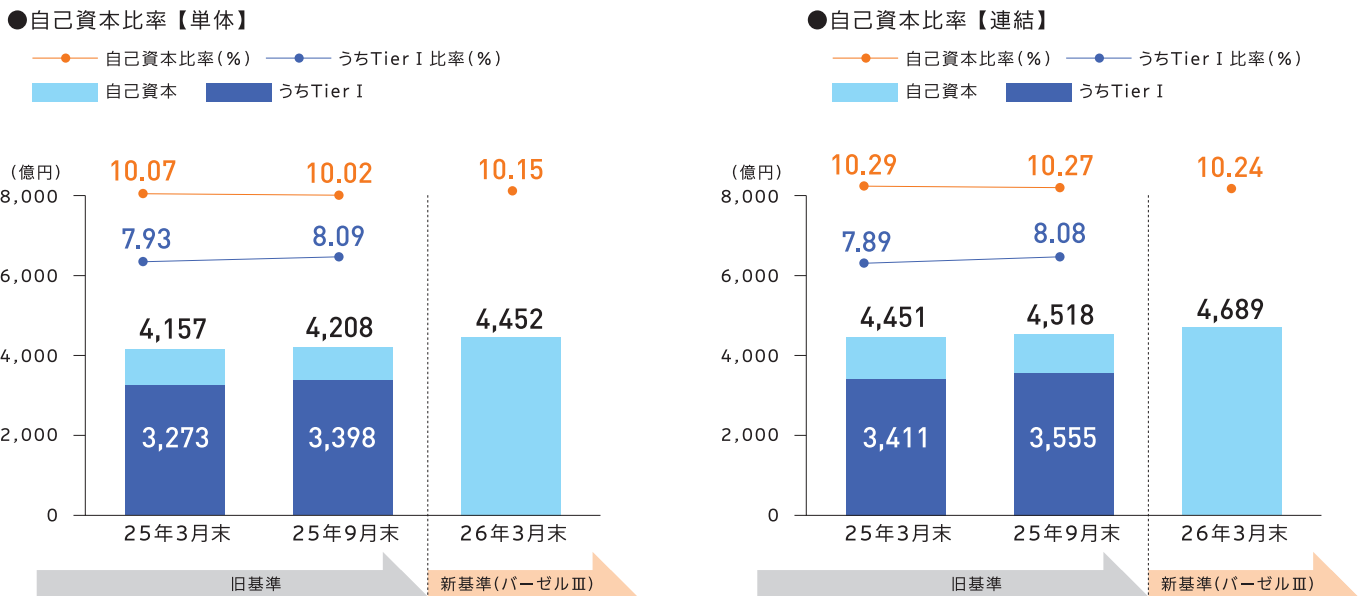
◎損益の状況(単体)

平成26年3月期のコア業務純益は、貸出金利回の低下による貸出金利息の減少及びシステム関連投資の減価償却費(経費)の増加等により、前期比37億円減少し395億円となりました。また、株式等関係損益の改善、信用コストの減少及びシステム共同化等に伴う前期の一時的なコストの反動減により、経常利益は、前期比15億円増加し363億円、当期純利益は、前期比41億円増加し219億円となりました。



◎自己資本比率の状況

自己資本比率規制(第1の柱)に関する告示が改正され、平成26年3月末から新基準(バーゼルⅢ)に基づき算出しております。新基準に基づく平成26年3月末の自己資本比率は、単体で10.15%、連結で10.24%となりました。



【用語説明】

◎コア業務純益

預貸金業務などによる“資金利益”や投資信託等の販売手数料などの“役務取引等利益”などを含む“業務粗利益”から“経費”を差し引いたもので、銀行本来業務の収益力を表す指標として一般的に用いられています。

$$\text{コア業務純益} = \text{業務粗利益(除く国債等債券損益)} - \text{経費}$$

◎自己資本比率

銀行の健全性を示す指標のひとつです。国内基準で4%以上を維持することが求められています。

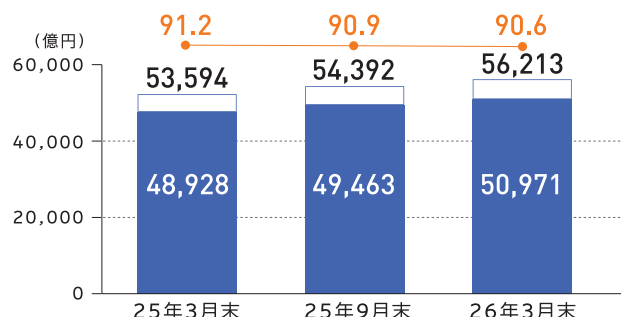
$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本(資本金など)}}{\text{リスク度合を考慮した資産}} \times 100$$

◎貸出金の状況

平成26年3月末の総貸出金のうち、九州域内での貸出金の比率が90.6%、また、中小企業*及び個人への貸出金の比率が76.7%と九州の特に中小企業・個人のお客さまを中心としたさまざまな資金ニーズにお応えしております。

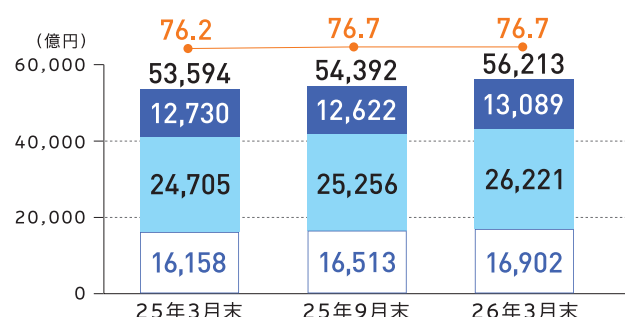
●総貸出金の地域別内訳

□ 総貸出金残高 □ うち九州域内貸出金残高
○ 九州域内貸出金比率 (%)



●総貸出金の企業規模別内訳

□ うち大・中堅企業、地方公共団体向け貸出金残高 □ うち中小企業*向け貸出金残高
□ うち個人向け貸出金残高 ○ 中小企業*及び個人貸出金比率 (%)



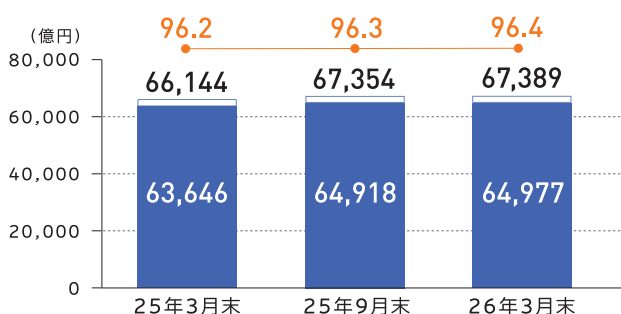
*中小企業…資本金3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品賃貸業等は5千万円)以下の会社又は常用する従業員が300人(ただし、卸売業、物品賃貸業等は100人、小売業、飲食業は50人)以下の企業等

◎預金・預り資産の状況

平成26年3月末の譲渡性預金を含む預金残高のうち、九州域内での預金の比率が96.4%、預り資産(投資信託・個人年金保険・一時払終身保険)のうち九州域内での預り資産の比率が97.8%となっており、九州地域の皆さまから多くのご資産をお預りするとともに、皆さまの多様なニーズにお応えするため、商品・サービスの充実を図っております。

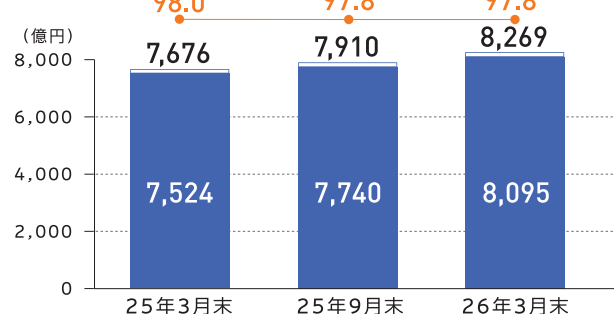
●預金(譲渡性預金を含む)の地域別内訳

□ 総預金残高 □ うち九州域内預金残高
○ 九州域内預金比率 (%)



●預り資産(投資信託・個人年金保険・一時払終身保険)の地域別内訳

□ 預り資産残高* □ うち九州域内預り資産残高*
○ 九州域内預り資産比率 (%)



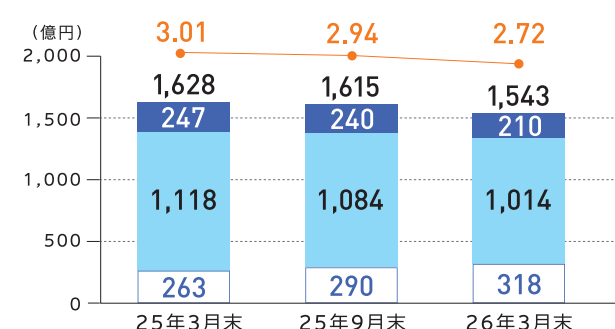
*預り資産残高 = 投資信託残高 + 保険商品販売累計額(個人年金保険販売累計額 + 一時払終身保険販売累計額)

◎不良債権の状況(単体)

平成26年3月末の金融再生法に基づく開示債権の残高は、資産の自己査定基準に基づき、償却・引当を実施した結果、平成25年3月末比85億円減少し、1,543億円、開示債権比率は2.72%となりました。

●不良債権比率

■ 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 ■ 危険債権
□ 要管理債権 ○ 金融再生法開示債権比率 (%)



【用語説明】～金融再生法による開示債権の定義～

◎破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産・会社更生・再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

◎危険債権

債務者が、経営破綻の状態には至っていないものの、財務状態・経営成績が悪化し、契約通りの返済を受けることができなくなる可能性の高い債権

◎要管理債権

3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

インターネットバンキングの
セキュリティ対策強化に向けた取組み

1 銀行のシステム対策例

NCBダイレクト(個人のお客さま)では、普段とは異なるパソコンから接続された場合は「合言葉」による追加認証を行う等、犯罪者の不正利用を防止するためのさまざまな対策に取り組んでいます。特に当行は、安全性が飛躍的に向上する「ワンタイムパスワード」の携帯・スマートフォンアプリを提供しており、お客さまのご利用を強くお勧めしています。NCBビジネスダイレクト(法人・個人事業主のお客さま)においても、登録したパソコン以外からは接続できない仕組みに加え、7月からは「ワンタイムパスワード」もご利用いただける等、不正送金防止に向けた対策に取り組んでいます。

2 お客さまのご利用のパソコンへの対策例

当行ホームページでは、偽サイトへの誘導(フィッシング)や、ウイルス(スパイウェア)によるパスワード等の窃取を防止する、「不正送金対策ソフト」を無料で配布しています。

3 お客さまへの注意喚起

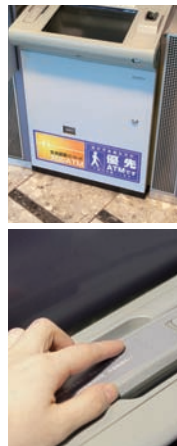
お客さまご自身の被害防止への意識向上のため、次のような注意喚起を行っています。

- ① セキュリティ対策ソフトによる定期的なスキャンや、他のソフトも含めた最新化。
- ② パスワード等の定期的な変更や、取引結果メールの通知先・振込限度額の見直し。
- ③ 承認機能のご利用(NCBビジネスダイレクトのお客さま)。
- ④ パソコンを利用しない時のログアウトや回線の切断、電源オフの励行。
- ⑤ 不審なサイトやメールは絶対に開かない。
- ⑥ 不審な画面が表示された場合、パスワード等は絶対に入力しない。…等

視覚障がいをお持ちの
お客さまに配慮した取組み

1 視覚障がい者対応
(受話器型操作機付)
ATMの増設

全ての営業店に1台以上の設置が完了し、店外ATMコーナーと合わせ723台となりました(平成26年3月末現在)。今後も順次増設を行い一層の利便性向上に努めてまいります。



2 点字文書の
無料郵送サービス

取引店窓口で直接または電話でのお申込により、左記の取引明細等を点字で作成し、ご自宅宛に郵送するサービスを実施しています。

【対象取引】普通預金・貯蓄預金取引明細の通知(1か月単位で送付)、定期預金満期の通知(満期日到来の都度送付)
その他、窓口振込手数料の優遇や代筆・代読のご対応を実施しております。詳しくは、お気軽に取引店窓口にお問い合わせください。

ご相談・お問い合わせ

●ご意見・苦情

◎西日本シティ銀行お客様サービス室

☎ 0120-162-105 または FAX.092-461-1916

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00
(祝日および銀行休業日は除きます)

24時間

◎西日本シティ銀行の本支店窓口

●金融犯罪被害に関するご相談(振り込み詐欺・預金不正引出し等)

◎金融犯罪被害に関する相談窓口

☎ 0120-797-919

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00(祝日および銀行休業日は除きます)

●金融ADR(裁判外紛争解決手続き)制度 指定紛争解決機関

◎全国銀行協会 相談室

TEL.0570-017109 または TEL.03-5252-3772

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00(祝日および銀行休業日は除きます)

◎信託協会 信託相談所

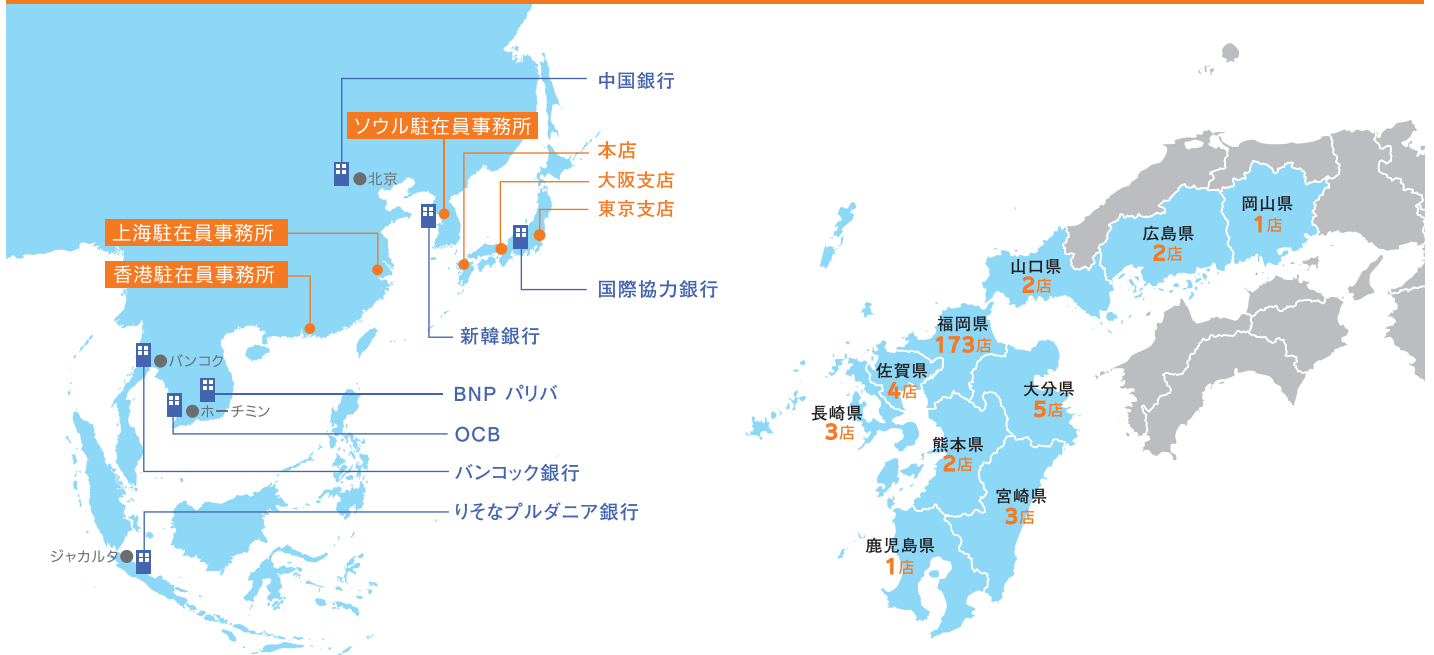
☎ 0120-817335 または TEL.03-3241-7335

【受付時間】月～金曜日9:00～17:15(祝日および銀行休業日は除きます)

●金融円滑化相談窓口

すべての営業店のご融資窓口およびビジネスサポートセンター、NCBいつでもプラザ(インスタブランチ)、ローン営業室においてご相談・お申込みください。

店舗網・海外ネットワーク



●店舗数198か店

福岡県／173店	鹿児島県／1店
佐賀県／4店	山口県／2店
長崎県／3店	広島県／2店
熊本県／2店	岡山県／1店
大分県／5店	東京都／1店
宮崎県／3店	大阪府／1店

●海外駐在員事務所3か所

ソウル駐在員事務所
上海駐在員事務所
香港駐在員事務所

●ATM／1,374台

店舗内913台
店舗外461台
※コンビニATM除く

●提携金融機関

りそなブルダニア銀行(インドネシア)平成8年提携
中国銀行(中国)平成13年提携
国際協力銀行(日本)平成13年提携
新韓銀行(韓国)平成19年提携
OCB(ベトナム)平成20年提携
BNPパリバ(ベトナム)平成20年提携
バンコック銀行(タイ)平成21年提携

(平成26年4月30日現在)

プロフィール

商号	株式会社西日本シティ銀行
設立	昭和19年12月1日
本店所在地	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号
資本金	857億円
店舗数	198か店
従業員数	3,867名
総資産	7兆7,611億円
預金・譲渡性預金残高	6兆7,389億円
貸出金残高	5兆6,213億円

(平成26年3月31日現在)

株式のご案内

- 1 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
- 2 定時株主総会 6月に開催いたします。
- 3 配当金のお支払いについて
 - 【期末配当金】3月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いいたします。
 - 【中間配当金】取締役会の決議によって中間配当を行う場合は、9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いいたします。

配当金のお受取りには、当行の預金口座への振込をご利用いただけますと、速くて便利です。
- 4 基準日 定時株主総会については3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
- 5 公告方法 電子公告による公告とし、当行ホームページ(<http://www.ncbank.co.jp>)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、西日本新聞と日本経済新聞に掲載いたします。
- 6 株主名簿管理人特別口座の口座管理機関
 - 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号日本証券代行株式会社
 - (1)事務取扱場所 福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店 電話:福岡(092)741-0284
 - (2)お問い合わせ先 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部/0120-707-843(フリーダイヤル)

〈ご注意〉株主様の住所変更、買増・買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

※計数につきましては、原則として単位未満を切り捨てて表示しております。

平成26年7月発行 株式会社西日本シティ銀行 広報文化部 〒812-0011福岡県福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号 TEL 092-476-1111(代表)

ホームページ <http://www.ncbank.co.jp>



ココロがある。コタエがある。
西日本シティ銀行